作成日 令和7年6月1日

		TF成ロ TM740月1日 ・			
法人理念		すべての子どもの最善の利益のために			
支援方針		<ul> <li>・共感的で温かい関わりの中で、自己肯定感や主体性、意欲を高めます</li> <li>・得意なことを活かしながら、楽しさや達成感の中で成長発達を促します</li> <li>・自分が大切にされる経験を通して、自分の気持ちを表現する力、他者の心情や状況に目を向けてやりとりする力を養います</li> </ul>			
営業時間		① 9:30 ~ 12:30 ②14:00 ~ 17:00	送迎実施の有無 ① あ ② な	50 なし	
		支援内容			
本人支援	健康 生活	<ul> <li>健康状態を把握し、表情や行動など普段との違いに目を向け健康管理を行います。</li> <li>食事、排泄、着脱、身だしなみ、持ち物管理などの日常生活動作を獲得できるよう、スモールステップで支援します。</li> </ul>			
	運動感覚	<ul> <li>・走る、ジャンプ、回転など体をたくさん動かすことで、運動機能や自分の体・感情をコントロールする力を高めます。</li> <li>・感触遊びや感覚統合遊具を通して様々な感覚の発達を支援します。苦手な感覚がある場合、環境調整や回避方法の提案、抵抗感を緩和する働きかけを行います。</li> </ul>			
	認知行動	<ul> <li>一人ひとりの感じ方や困り感を理解し、本人が過ごしやすくなるよう支援します。</li> <li>すべきことや予定を確認・理解しやすいよう視覚的に提示するなど、見通しを持てる安心感に配慮します。</li> <li>物事の善し悪しなどについて共に考えることを大切にし、自分で考え判断して行動できるよう支援します。</li> </ul>			
	言語 コミュニ ケーション	<ul> <li>気持ちをくみ取り共感的に対応し、気持ちを表現する意欲を育みます。言葉に限らず、身振りや写真カード、文字など子どもの扱いやすい方法で、意思表示できるよう支援します。</li> <li>肯定的な表現でどのようにするとよいかを端的に伝え、理解のしやすさに配慮します。</li> <li>状況説明や相手の気持ちの代弁などを丁寧に行い、状況に応じたコミュニケーションを行えるよう支援します。</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<ul> <li>大人が「安心の基地」になることで、不安になったり感情的になったとき、自分の気持ちに折り合いをつけることができるよう支援します。</li> <li>必要時に大人が介入、展開することで、他児とのやりとりが深まるよう支援します。</li> <li>気持ちに寄り添いながら、思うようにいかないことなど様々な状況に応じる力を養います。</li> </ul>			
家族支援		<ul><li>・子どもの発達状況を説明し、声のかけ方や援助の仕方について助言や提案を行います。</li><li>・家庭での育児に関する困りごとやきょうだいへの対応など、様々な相談に応じます。</li></ul>			
移行支援		・地域の中で適切な支援を受けられるように、並行利用園、移行先と連携を図ります。			
地域支援 地域連携		・保健、医療、福祉、教育などの関係機関と連携して、子どもや家族の支援を行います。			
職員の質の向上		・支援の質を維持・向上させるため、事業所内で各種研修を実施し、外部研修への参加や他事業所 の見学なども行います。			
主な行事等		<ul><li>季節に合わせた活動を実施します (七夕・クリスマス・節分・ひな祭り など)</li></ul>			